

アドミニストレーション研究科での院生教育は、前期課程1年生から2年生にかけて、修士論文の研究テーマに向けて、修士論文の問題解決に必要な研究科目を履修しながら本来の研究テーマの課題解決に努め、最終年度に修士論文を完成させる。その際に、学内で年2回の研究発表会が開催される。まず第1回初期報告会では、主査の指導教員と1名の副査の教員による指導を受けるとともに、報告会では他の教員から質問とコメントを受けることで、院生は広い視野から研究のレベルアップを目指している。さらに第2回中間報告会では、2名の副査の教員からの指導を受けることで、専門的視野を拡げて修士論文の内容充実を図っている。

(報告会の様子)

